

授業概要

西洋史研究の世界で、今日国際的にもっとも注目されているテーマのひとつに「カリブ諸島（西インド諸島）」プランテーションにおける黒人奴隷の人口と出生・死亡、そして親子関係が挙げられる。本講義は、英国ブリストル大学の特殊史料として保蔵されている「ピニー家文書」の読解を試みる。この文書は、18世紀から19世紀にかけて英領西インドの小アンティル諸島ネイヴィス島で、大規模砂糖プランテーションを経営したブリストル市出身の「ピニー家」が残した膨大な文書類で、日本では初公開になる。まず授業の前半で、西インド諸島のプランテーションについて基礎知識を養い、その上で史料の解読に取り組む。プランターや黒人奴隷の生々しい息遣いを感じ、奴隷制の歴史的意義の問題を考察する。

授業計画

第 1 回	授業概要・受講心得説明
第 2 回	講義①：西洋史における「西インド諸島奴隷プランテーション」問題 ウィリアムズ・テーゼ
第 3 回	講義②：サトウキビ栽培の歴史 アジア・地中海・ブラジルからカリブ海諸島へ
第 4 回	講義③：黒人奴隷制の歴史 セネガンビアからアンゴラ・モザンビークへ
第 5 回	講義④：アフリカ人奴隷貿易の歴史 ポルトガルから英国へ
第 6 回	講義⑤：奴隷制廃止のうねり 18・19世紀英国
第 7 回	史料紹介①：ブリストル大学「ピニー家文書」の内容と資料的価値
第 8 回	「ピニー家文書」解読①：DM58/17 Account Book (1767) の検討
第 9 回	「ピニー家文書」解読②：DM58/31 Account Book (1785) の検討
第 10 回	「ピニー家文書」解読③：DM58/27 Account Book (1783) の検討①：農園の農地の配置
第 11 回	「ピニー家文書」解読④：DM58/27 Account Book (1783) の検討②：輪作
第 12 回	「ピニー家文書」解読⑤：DM1173 Plantation Occurrences 1791-1801 の検討① 「プランテーション・ジャーナル」史料の意義と内容
第 13 回	「ピニー家文書」の検討⑥：DM1173 の検討②：プランテーションの職種配分
第 14 回	「ピニー家文書」の検討⑦：DM1173 の検討③：農作業の季節性と労働配分の変化
第 15 回	総括 「ピニー家文書」から解明されること
第 16 回	筆記試験 論述式

到達目標

西洋史における黒人奴隷制の意義と実際について知識を得、それらを自分の言葉で説明できるようになること。厳しい判断と態度とを要求される「歴史の暗部」の史料を一字一字しっかり読むことを通して、歴史を過去の自分とは無関係のお話の世界のことではなく、それが生々しい現実だったことを肌で感じること。それを通して国際化する社会の文化理解の促進に寄与する意思と能力を培うこと。

履修上の注意

授業の性格より、世界史・地理の知識を前提とし英語史料を読み解くので、「西洋史学入門」・「西洋史概説」などをあらかじめ受講し、英語力をブラッシュアップしておくことが望ましい。ただしこれら科目の未履修者や英語力に自信がない受講者が不利にならないよう十分配慮する。受講に不安のある人はぜひ研究室まで相談に来てほしい。

予習・復習

授業前半の講義期には、予習に力を入れること。あらかじめ次回授業のキーワードを提示するので、よく下調べしておくこと。また講義でも不明な点あれば、講義中に質問コーナーを特に設けるので、必ず質問すること。史料読解期には、復習に力を入れること。史料の文章（英文）をノートに復元し日本語の意味を正しく記すことができるまで入念に練習すること。

評価方法

定期試験・小テスト・授業の平常点の成績を総合して評価する。その配分割合は、定期試験60%、小テスト20%、平常点20%とする。平常点は、授業内課題の成績をもって評価。

テキスト

特に用いない。参考文献については、随時授業内で紹介する。必要な資料類は、すべてコピーを配布する。